

第17回 SIP 自動運転 推進委員会 議事概要

1. 日 時 令和4年3月2日(水) 10:00~11:30

2. 場 所 ウェブ会議

3. 出席者：(敬称略)

(議長)	葛巻 清吾	プログラムディレクター
(SPD)	有本 建男	政策研究大学院大学 客員教授 兼 科学技術振興機構 研究開発戦略センター 上席フェロー
(SPD)	白土 良太	日産自動車株式会社 法規・認証部 技術渉外グループ シニアエンジニア
(SPD)	杉本 洋一	株式会社本田技術研究所 先進技術研究所 エグゼクティブチーフエンジニア
	朝倉 康夫	東京工業大学 大学院 土木・環境工学系 教授
	天野 肇	I T S J a p a n 理事
	石井 昌道	モータージャーナリスト
	岩貞 るみこ	自動車ジャーナリスト
	大口 敬	東京大学 生産技術研究所 人間・社会系部門 教授
	加藤 晋	産業技術総合研究所 首席研究員
	鎌田 実	日本自動車研究所 代表理事 研究所長
	河合 英直	自動運転基準化研究所 所長 兼 自動車技術総合機構 交通安全環境研究所 自動車安全研究部長
	教野 秀樹	日本自動車部品工業会 兼 住友電気工業(株)CAS-EV 開発推進部 業務企画部 部長補佐
	小出 啓介	電子情報技術産業協会 兼 ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社 車載事業部 オートモーティブ戦略部 国際標準化戦略室室長
	波多野 邦道	日本自動車工業会 安全技術・政策委員会 自動運転部会長 兼 (株)本田技術研究所先進技術研究所 AD/ADAS 研究開発室 エグゼクティブチーフエンジニア
	横山 利夫	産業技術総合研究所 プロジェクトコーディネーター(招聘研究員)
	鈴木 崇弘	デジタル庁 国民向けサービスグループ 企画官
	牧野 充浩	警察庁 長官官房 参事官
	井出 真司	総務省 総合通信基盤局 移動通信課 新世代移動通信システム推進室 室長
	福永 茂和	経済産業省 製造産業局 自動車課 I T S ・自動走行推進室長
	坂井 康一	国土交通省 道路局 道路交通管理課高度道路交通システム(ITS)推進室 室長
	多田 善隆	国土交通省 自動車局 自動運転戦略室長

オブザーバー

西山 裕子 文部科学省 研究振興局 基礎・基盤研究課 課長補佐 (渡邊課長代理)
浜崎 裕 都民安全推進本部 総合推進部 渋滞対策担当課長 (斎田部長代理)
岡 紳一郎 日本自動車工業会 安全・環境領域 領域長

管理法人

林 成和 新エネルギー・産業技術総合開発機構 ロボット・AI 部 部長

事務局

植木 健司 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 SIP/PRISM 総括担当 参事官
福島 千枝 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 SIP 自動運転リーダー
福永 茂和 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 SIP 自動運転サブリーダー
荒木 雄一 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 SIP 自動運転担当 上席政策調査員

4. 議題【非公開部】

1. 2021 年度課題評価結果 (案) 報告
2. 2022 年度以降の研究開発の推進と社会実装
 - (1) 研究開発計画の骨子 (案)
 - (2) 東京臨海部実証実験を通じた交通環境情報提供環境の構築
 - (3) 信号情報提供環境の構築
 - (4) 協調型自動運転のユースケースを実現する通信方式のロードマップ
3. SIP 自動運転の今後の予定
 - (1) 全体スケジュール
 - (2) SIP 第 2 期自動運転の成果発信
 - (3) RoAD to the L4 への引継ぎ
 - (4) 次期 SIP の進捗状況

5. 配布資料

推委 17-1	2021 年度課題評価結果 (案)	【非公開資料】
推委 17-2-1	研究開発計画の骨子 (案)	【非公開資料】
推委 17-2-2	東京臨海部実証実験を通じた交通環境情報提供環境の構築	【公開資料】
推委 17-2-3	信号情報提供環境の構築	【非公開資料】
推委 17-2-4	協調型自動運転のユースケースを実現する通信方式のロードマップ	【公開資料】
推委 17-3-1	全体スケジュール	【非公開資料】
推委 17-3-2	SIP 第 2 期自動運転の成果報告	【非公開資料】

推委 17-3-3	RoAD to the L4 への引継ぎ	【非公開資料】
推委 17-3-4	次期 SIP の進捗状況	【非公開資料】
参考資料 1	SIP 自動運転 2021 年度～2022 年度施策一覧	【公開資料】
参考資料 2	推進委員会等名簿	【公開資料】
参考資料 3	開催スケジュール	【非公開資料】

6. 議事概要

【非公開部】

1. 2021 年度課題評価結果（案）報告

- 推委 17-1 に基づき、内閣府から、「自動運転(システムとサービスの拡張)」の評価結果と主な評価意見について説明がなされた。

2. 2022 年度以降の研究開発の推進と社会実装

(1) 研究開発計画の骨子(案)

- 推委 17-2-1 に基づき、内閣府から、2022 年度は最終年度として成果の刈り取りと SIP 終了後を見据えた活動を実施すべく、ガバニングボードからの指摘事項に対する取組方針が示され、2022 年度研究開発計画の内容改定の方向性について説明がなされた。

(2) 東京臨海部実証実験を通じた交通環境情報提供環境の構築

- 推委 17-2-2 に基づき、V2N による情報利活用の課題に対する 2021 年度の取組が示され、2022 年度は、実証実験収集データの分析とまとめを行うほか、車線別交通情報の精度向上を目指した追加の実証実験などを実施予定であることについて、説明がなされた。

(3) 信号情報提供環境の構築

- 推委 17-2-3 に基づき、警察庁から、2022 年度に実施するクラウド等を活用した信号情報提供に関する研究開発の検証項目と構築するシステムについて、説明がなされた。

(4) 協調型自動運転のユースケースを実現する通信方式のロードマップ

- 推委 17-2-4 に基づき、協調型自動運転通信方式検討 TF の活動概要と成果が示され、協調型自動運転ユースケースを作成・公開し通信要件を策定したこと、各通信要件を踏まえた新たな通信方式の必要性を明確化したことなどから、本 TF は目的を達成したため 3 月で終了することの説明がなされた。

3. SIP 自動運転の今後の予定

(1) 全体スケジュール

- 推委 17-3-1 に基づき、内閣府から、課題評価日程(案)と社会的受容性の醸成に関するイベントについて、2022 年度計画の説明がなされた。

(2) SIP 第 2 期自動運転の成果発信

- 推委 17-3-2 に基づき、内閣府から、今後の研究開発での SIP 自動運転の成果活用を促進させることや、SIP 自動運転の成果を国内外の研究者や研究機関へアピールすること等を目的とした、最終成果報告書の発行について説明がなされた。

(3) RoAD to the L4 への引継ぎ

- 推委 17-3-3 に基づき、内閣府から、SIP 自動運転の活動資産を SIP 第 2 期終了後も活かすべく、RoAD to the L4 への引継ぎを図ることの説明がなされた。

(4) 次期 SIP の進捗状況

- 推委 17-3-4 に基づき、内閣府から、次期 SIP では 15 個の課題候補を決定し、モビリティ関連では「スマートモビリティプラットフォームの構築」があること、各課題候補に対して RFI が実施されたことの説明がなされた。